

頭シラミについて

保育園のように子どもどうしの接触が密な集団生活の中では、時々頭シラミの発生がみられます。これは決して不潔で発生するのではなく、病気との関係もありません。子ども達はからだを寄せ合って遊ぶことが多いので、大人より移りやすいと考えられます。

頭シラミに感染することにより、吸血されるとかゆみができます。頭皮に掻き傷ができたり、かゆみのために集中力が低下したりします。頭シラミを駆除するためには、正しい知識と適切な対応が必要です。

園では日頃から早期発見に努め、有卵が認められたときには皮膚科受診をお願いしています。

1 頭シラミの見つけ方

髪の毛に産みつけられている卵を探します。卵は楕円形で手で触っても簡単にはとれません。

【産卵部位】

- ・耳の後ろ側や後頭部に卵が多く見られます。
- ・利き手ではない頭側に卵が多く見られます。

2 感染源

- ・帽子、カラーゴム、クシ、ブラシ、タオル等の貸し借り。
- ・寝具類、枕、シーツ等を介してうつる。
- ・頭を触れ合って遊ぶ。
- ・集団生活やバス・電車のソファを介してうつる。

3 駆除方法について

(1) スミスリン剤を用います。(説明文書をよく読み、用法用量を守ってください)

(2) 10日間、毎日髪を専用グシでとかしましょう。

頭シラミ専用グシを利用すると効果的な駆除ができます。ない場合は普通のすきぐしでも可能ですが、目の細かい物を使用しましょう。

首から下をケープやバスタオルなどで覆い、髪を小分けしながら専用グシでとかします。卵がみつかったら、髪の毛ごと1本1本丁寧にハサミでカットします。

終わったら掃除機で周辺を清掃します。

〈注意〉

※途中で卵が増えていたり、10日間以上続けているのに駆除できない場合は、新たに移っていることが考えられます。寝具やタオルクシなどの生活用品の対策をしっかりと行いましょう。

(3) 頭髪以外の駆除対策について

●衣類・寝具類の処置

対象物：帽子、クシ、ブラシ、タオル、髪の毛のゴム、マフラー、スカーフ、コート類、枕カバー、シーツ類など

- ・洗えるものは毎日洗いましょう。
- ・共用は避けましょう。
- ・コートなど毎日洗えない物は、使用后ブラシをかけたり、掃除機をかけるなどしましょう。
- ・熱処理も有効です。熱湯に(60℃以上)に5分間以上浸ける・アイロンを使用する・乾燥機を使用するなど(素材によっては熱処理が出来ないものもありますので、注意して下さい)

- 部屋の処置 掃除機をまめによくかけましょう。薬剤は不要です。